Ishi Datami

いしだたみ

長崎南高校関西同窓会　会報

～　２００９年　秋号　～

第19回総会に寄せて

関西同窓会
会長　大石哲史(7回生)

私が長崎に帰るのはこのところ通常の土日を利用するのが常となっています。盆・正月や連休をあえてはずし金曜日に仕事を終えて最終の飛行機でひとっ飛び。特にここ数年は気ままに一人でANAなら超割・旅割、JALなら先得をゲット。行先は実家だから宿泊代は勿論無料。ひとに誘われるまま遠方までガソリンを撒いてしかも高速を走って(今は、千円の恩恵がありますが・・・)ゴルフに行っていることを思うと、ほぼ等しい料金で故郷の空気が吸えて気持ちが和む訳でして、まさに年に数回の命の洗濯といえるのです。

直近は4月の下旬。実は「帆船まつり」を一度は見たいと手配したチケットは何を間違ったか祭りの1週間前のものでした。まぁいいやと予定通り帰省をしたところその祭りもさることながら、町は来年の大河ドラマ「龍馬伝」の放映を控え幕末の話題に盛り上がるというか、かつてのさるく博に一層磨きをかけ、坂本龍馬が歩いた長崎をさるこうと『長崎さるく幕末編』が始まろうという矢先でした。

それではと、暇にまかせて電車で公会堂前まで行き下車。ぶらぶらと風頭山の坂本龍馬像を拝もうと懐かしい長崎ならではの急坂を登っていった次第です。途中、亀山社中跡を見たかったのですが残念ながら工事中(既に 8 月より記念館がオープンしたらしい)のためテントで覆われていて叶わず。近くの見晴らしのよい茶店を見つけ関西人気どりで入り、関東から来たというお客さんと一緒にそこのオバちゃんの長崎四方山話(・・・結構、娘さんの自慢話が入っていました)を何食わぬ顔して相槌を打ちながら聞いたのは印象的でした。

さてその帰り、寺町を過ぎ暫くすると伊良林。そこにある「光源寺」って皆さんご存じですか？「飴屋の幽霊」とも「産女の幽霊」とも言われる、子を思う母の心の美しさを伝える民話で知られるところです。

実はここに南高初代校長古川憲介先生の顕彰碑があることをふと思い出し、ついでに(・・・と言ってはばちが当たりますね)墓参してきました。碑には「気魄と情熱」の文字が大きく刻まれており、山をも動かす気魄と困難にぶつかっていく情熱を今でも声高に私たちに伝えようとする感じがしました。そしてその古川校長の南高創立のと気魄情熱に心動き意を決して赴任して来られたお一人が今回のゲストの波多江利雄先生です。4 回生と 8 回生の恩師であられ今は佐賀短期大学にご勤務されています。

ところで、この度の政権交代後、鳩山新総理はしきりに友愛という言葉を発信していますがこれまた皆さん頭の片隅に何かこびりついていませんか？・・・そうです、南高の校訓第1条が気魄と情熱なら、締めの第4条がなんと「親和と友愛に充ち、礼節を重んぜよ」なのです。

関西同窓会、今こそ恩師の琴線にも触れる機会でもありまた南高を源として心の交流ができるこの場に是非仲間を誘い合わせて沢山の同窓生が集まることを願っています。

思い出すままに

波多江　利雄　先生
昭和３８年～昭和４６年ご勤務
４回生３組、８回生５組ご担当

昭和３７年の秋、分厚い封書が速達で届きました。長崎南高校初代校長古川憲介先生からの手紙でした。「気魄と情熱」に燃える文面でした。「是非長崎南高校の学校創りに力を貸して下さい。住宅は用意します」と云う主旨の手紙でした。私は有難くお受けしました。

翌年の春、私は長崎に骨を埋める覚悟で南高に赴任しました。体育館から歩いて数１０歩のところに住宅が完成間際でした。引越荷物は南高のフロアに置かせて頂き、弥生が丘の旅館から南高に通いました。家の完成と同時に引越しを始めましたが、南高の生徒さん達に手伝って頂き大変嬉しく思いました。

「理想は高く、気魄と情熱に燃えよ」を校訓に、「学習と部活動の両立」を校是に掲げて南高は毎日の学習と部活動に着実に取組みました。職員会議では夜の９時過ぎまで、南高教育について激論を戦わせたものです。それが、南高教育の推進力となり支柱になりました。

長崎南高校の思い出の一つに「雲仙合宿」があります。私が赴任した昭和３８年の夏に初めて実施され、以後毎年夏に実施されるようになりました。今でも当時の国民宿舎仙郷荘が鮮明に目に浮かびます。また物見遊山的な修学旅行を改めて、大分県の久住山や宮崎県の韓国岳（からくにだけ）等の名山に登山研修を行いました。汗を流してやっと山頂に辿り着いた時、「眺望絶佳」はまさに汗の結晶でした。その他体育祭の感動シーン、高校生らしい端正な服装、朝夕のさわやかな挨拶等々。

昭和４７年春、私は郷里に転勤せざるを得ませんでした。老父母が病気がちになったためです。その後、佐賀県教育委員会で教育行政に携わったり、高校現場で校長として学校運営に当たったりしましたが、常に長崎南高校がその根底にありました。唐津城天守閣の下にあった唐津東高校で定年退職（その後佐賀短期大学に勤務）しましたが、今年創立１１０周年を迎えました。私の母校です。

長崎南高校も再来年創立５０周年を迎えます。その時は是非南高を訪ねたいと思っています。２人の息子も長崎生まれの、長崎（南高そば）育ちです。長崎は故郷であり南高は第２の母校です。“高く誇らん母校南”“永久に栄えん母校南”

長崎南高校関西同窓会第19回総会

とき　　２００９年１１月１４日（土）

１４時４５分受付開始、１５時３０分開会

ところ　　『日本綿業倶楽部（綿業会館）』

大阪市中央区備後町2-5-6　電話06・６２３１・４８８１

ホームページ　http://www.mengyo-club.or.jp

来賓　　波多江　利雄　先生

（前頁で思い出の寄稿を頂きました）

ことしの会場は昭和７年に開館し、激動の昭和史の舞台となった名建築。
平成１５年に国重文に指定されています。**今回は同窓会総会に先立って、１３時５０分～１４時２０分、館内の見学会を企画しました。**
合わせてご参加ください。

（会場案内は次ページに）

参加申し込みは同封のはがきで１０月２６日（月）までに。
見学会への参加希望の有無も必ずお書きください。

会費　　男性：８０００円　　女性：６０００円　　学生：無料
年会費　　２０００円（お振込みいただいていない方は、当日お願いします）

★総会名物の「オークション」も催します。釣銭が不足しがちですので
なるべく５００円硬貨や１００円硬貨をご持参ください。
★２次会も予定しています（２０時にお開き予定）。ぜひご参加ください。

◆ 会場紹介

ことしの関西同窓会総会の会場は、昭和７年に日本綿業倶楽部の建物として開館した「綿業会館」です。イタリアルネッサンス調の玄関、イギリスルネッサンス初期のジャコビアン・スタイルの談話室、クイーン・アン・スタイルの特別室…。いずれも思わずため息がもれてしまうほど、重厚で華麗な雰囲気に満ちています。目に見えるところばかりでなく、当時から将来の冷暖房の普及を予想してダクトの径を太くし、井戸水による冷風送気も行っていたというから驚きです。

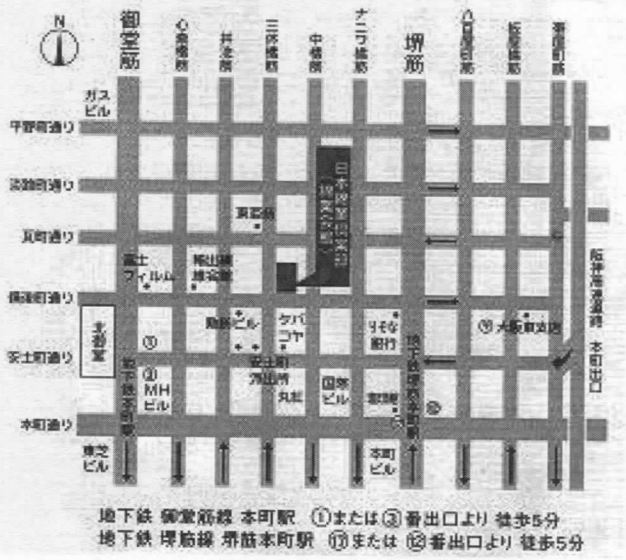
開館早々、リットン卿率いる国際連盟満州事変調査団が来館するなど、各国の要人が訪れ、国際会議の場としてもよく利用されました。平成１５年に国の重要文化財に指定され、普段は毎月第４土曜日に予約制で見学会が催されているだけ。今回は昭和史の舞台となった名建築の魅力をたっぷり味わえる、またとない機会です。

先ごろ放映されたNHKドラマスペシャル「白洲次郎」のロケにも使用されたとのこと。ぜひ見学会にも参加して「本物」を確かめていただければと思います。

《綿業開館へのアクセス》

地下鉄御堂筋線・本町駅①または③番出口から徒歩５分。

地下鉄堺筋線・堺筋本町駅⑰または⑫番出口から徒歩５分。「三休橋筋」と「備後町通り」が交差する角の北東側にあります。



“うおまん”でかんぱ～い!

榎田　政純（９回生）

７月３日、昨年に引き続きヨドバシ梅田店８Ｆの「うおまん」での“納涼ビアパーティー”に参加しました。総勢３０名程の集まりで、同じ９回生が男性３名、女性３名と在学中はもちろん、卒業後初めて会話する自称、美女、美男の参加となりました。先ず男性から紹介させていただきますと、副総料理長(コック帽が足よりも長い！)として、スイスホテル南海大阪の宴会からレストランまで取り仕切っている福本さん、見た目は怖いけど頼れるおじさんです。次回の同窓会をスイスホテルでやる時は無理を聞いてくれるものと思いますし、皆さんのご子息、ご息女がご結婚とあらば、数百人規模の豪華結婚式もお手の物です。当日も６００名のパーティーの準備をした後に参加していただきました。もう一人は、三洋ジーエスソフトエナジーの生産本部長の柳川さん、永年三洋電機洲本工場に勤務し、携帯電話等で使われているリチウムイオン電池の生産技術を支えてきた後、中国の膨大なマーケット対応でGSバッテリーとの合弁会社の役員として出向、それも京都に単身赴任中での参加です。昔から口数が少なく、綺麗な奥さんと仲の良いおしどり夫婦です。女性三人は皆さんご存知の姉御肌の岡さん(認知度大の為、省略)、後の主婦お二人(木村さん、武谷さん)は初めての参加でしたが、お互いに共通の昔話は無いものの家族、特に子供の教育問題などの話題となりました。もちろん、先輩諸氏とも”乾杯”、”かんぱ～い”で楽しい時間を過ごさせていただきました。本当に短い時間でしたが楽しいひと時でした。次回は、関西同窓会総会で皆さんとお会いできるのを楽しみにしております。ほな、プロ～スト

同窓会デビュー

木村（中崎）芳子（9回生）

7月の関西地区の同窓会に初めて参加させていただきました。どんな方達がいらっしゃるのか緊張して足を運んだのですが、皆さん屈託なく話をしていただいて、とても楽しいひと時を過ごすことができました。

私は奈良に住むようになって今年で22年になります。日本史の教科書でしか見たことのなかった法隆寺、薬師寺、唐招提寺・・・飛鳥、そして数々の仏像・・・好きなときにいつでも観ることができます。そして、奈良盆地を囲む山々はとてもなだらかで心和みます。

私の好きな仏像の一つに法隆寺の百済観音像があります。ほっそりとしたお姿、何ともいえない優しい微笑み、一日中観ていても飽きることがないくらい魅力的です。皆さんもどうぞ奈良にいらしてください。なんだか奈良の観光案内みたいになってしまいましたね・・・

最期にこんな拙い私の文章を読んでくださってありがとうございました。

そして、今後ともどうぞよろしくお付き合いください。

ピアノへの再挑戦

山尾　博（5回生）

2年前会社での仕事が一段落し、自宅の書棚を整理すると30年以上も前の楽譜が数点出てきました。いつか弾きたいと思っていた曲に再会し、ピアノを習うことを決めました。

亡父がショパンの別れの曲だけを弾いていたのを思い出し、私もあの世にゆくまでに1曲だけは弾けるようにと思い、選んだ曲がムソルグスキーの展覧会の絵（組曲）です。この曲は昔ロックの3人組ELPが演奏したものを聴きいたく感激したものです。組曲よりキエフの大門を選ぶと、ほとんど和音をつなげた曲で重量感のあるものでした。素人なりになんとか暗譜でき、弾けるようになったころ、習っていた先生から東京のサントリーホールで発表会があるから参加してはどうかとの話がありました。ホールにはSteinwayのD-274があり、その輝かしい音色を聞きたく参加を決意しました。

7分を超える大曲なので、先生に制限時間の4分に編曲してもらいましたが、いざ人前で弾くとなると途切れることが何度かありました。これは演奏する心構えに問題ありと思い同窓生の彦田（陣内）さん（5）と岡（高山）さん（9）のご両人に中型Steinwayのあるスタジオに来ていただき、実際のイメージ作りに協力していただきました。それと平行して別の先生を探し、2回特訓を受けました。有難いことにこの先生は若いころ展覧会の絵をマスターされておられ、暖かいアドバイスを受けることができました。

8月11日の当日はまず緊張しないように心がけました。いざ会釈をしてピアノに向かい弾き始めると、何とかなるとの思いがしてきました。実際には進行中に止まりそうになるも、何とか止まらずに終了しました。当然自己満足ですが、今まで最高の出来でした。

還暦を迎え記憶力も衰えてきていますが、暗譜できたのが自分でも驚きです。好きな曲をどうしてもマスターするとの意思、また発表会という目標があったから可能になったのでしょう。いつの日か同窓生の方との連弾がもう一つの夢です。

ながさき人のお店@KANSAI

Vol. 3　雲仙(大阪市北区)

9月某日、夕刻6時過ぎ。手際よく(?)仕事を終え行先はキタの新地へ。目指す店は『雲仙』。その名の通り経営者は南島原市(旧南有馬町)のご出身で、現社長の先代(お母上)が昭和25年創業の老舗。鉄板焼・串料理・揚げ物を専門とし、東京丸の内など他にも5店舗を展開中。とりわけここ北新地本店でのオリジナル串焼料理は珍味で舌鼓を打つ。

お店に入ると何とアンティークな雰囲気が漂う。(・・・大阪で串と言えばつい通天閣串カツ、二度漬け禁止を想い出すがとんでもない！！) 早速1階カウンター席に陣取り、オーダーは「おまかせコース」。当方のお腹の進み具合、つまりお客に合わせたユア・ペースで旬の食材を使った手作り感のあるものが順に出てくる。中高年にとっては、油っこく、コレステロールが！・・・とつい敬遠しがちだろうが、こちらは一串一串があっさりと焼きあげられしかもこだわりの植物油を使った健康志向の調理法だそうで・・・皆さん、こりゃぁイケますよ！！

おっと、ところで女将さん、いや社長さんにご挨拶→→→島原美人とはこういう方かと思わせるベッピンさん。先ほどからカウンターの中で自ら調理、采配をふるっているかと思えば、カウンターの外から一人一人のお客さんにおもてなしの立ち居振る舞いは感心させられた。
すっかりいい気分で支払いに及ぶとこれまたリーズナブル。加えて今回に限りとお土産にいただいた自家製のきくらげのつくだ煮。これまたコリコリ感のある何とも言えない美味。持ち帰って久し振りに女房に褒められた次第 (^O^)(^O^)・・・。
2階・3階もあり、テーブル席なら女性だけのグルメ会も楽しめますよ。

『雲仙　北新地本店』
大阪市北区曽根崎新地1-9-15　雲仙ビル
TEL:06-6345-0902
JR北新地駅11-41番出口から南へ
徒歩1分　スエヒロから一筋入ったところ
営業時間は、17時より

『旬s　淀屋橋店』(姉妹店)
大阪市中央区今橋4-1-1
淀屋橋三井ビル　odona　B1
TEL:06-6223-2228
ランチタイムならこちらがおすすめ

(7回生　大石哲史)

長崎南高校関西同窓会事務局

大阪市中央区北浜２の３の５　北浜山本ビル３階
松本法律事務所内
電話 06-4707-8518　　FAX 06-4707-0038
http://www.kansai-ishidatami.net/